株式会社　小泉製作所

「やってみる」が未来を切り拓く
まじめにおもしろい”ものづくり”

事業の沿革

1933年に創業者の祖父である小泉民三郎氏が堺市内に自転車用ハンドル製造を始めるため創業。1948年に株式会社小泉製作所を設立。

その後、川崎重工業のバイクの組立てを中心に担い、幅広い業種に取引先を拡大してきた。現在では、パイプを中心とした高精度の曲げ加工、溶接、表面加工処理などを一手に担えることを大きな強みとし、産業用ヘリコプターやパワーアシストスーツのフレームなどの開発にも携わっている。

3代目が築き上げた魅せる営業スタイル

先代の急逝により小泉達哉氏が3代目の社長に就任。先代は仕事以外にも他人のために汗をかける人であり、商談では自社の強みをアピールするのではなく、仕事以外の話をしながら人間関係に基づく繋がりで仕事を取ってくる営業スタイルであったが、現社長は、商談スペースを整備し同社の製品をたくさん展示したり、商談の最中にも現場で加工に対応するスピード感と技術力をアピールすることで仕事を獲得する営業スタイルに取り組み、「魅せる営業スタイル」を徹底。近年では動画配信サイトを活用したチャンネルを作成し、新型コロナの影響下においても積極的な情報発信を実施している。

「やってみる」の精神で”FactorISM”へ

2020年12月に開催された八尾市・堺市・門真市・東大阪市で合同開催されたオープンファクトリーイベント”FactorISM”に参加。元々同社には“知らないこと、できないこと、苦手なこと”にチャレンジするという目標があり、一般の方々にものづくりの魅力を発信する同イベントにチャレンジすることで同社内でのイノベーション創出に取り組んだ。

実際参加したことによって、自社内への影響のみならず同じく参加した堺市内企業との新たな協業や、他地域の訪問者からビジネスの関係構築が生まれるなど、本チャレンジによって生まれたメリットも大きい。

お客様の想いをアシスト！ものづくりの”相談所”

社長が注力していることは、お客様の新規事業を技術力でアシストすること。新製品のアイデアを持っている設計者やデザイナーに、実現できる技術を見せる現場として、多岐にわたるモノづくりの相談が行いやすい場を提供している。

実際に、昨年には新型コロナウイルス感染対策として堺市内の企業５社で共同で「ミスト噴霧器組立キット」も開発。

「魅せる営業」が生み出す「繋がり」で今後も新たなイノベーション創出が期待される。

設立年：1948年
業種：金属部品機械加工
本社所在地：大阪府堺市堺区
代表者：小泉　達哉
URL：http://www.koizumi-ss.co.jp/